

# AIR FILTER

## エアフィルター

定期交換が燃料消費効率を良くし、環境を保護する。

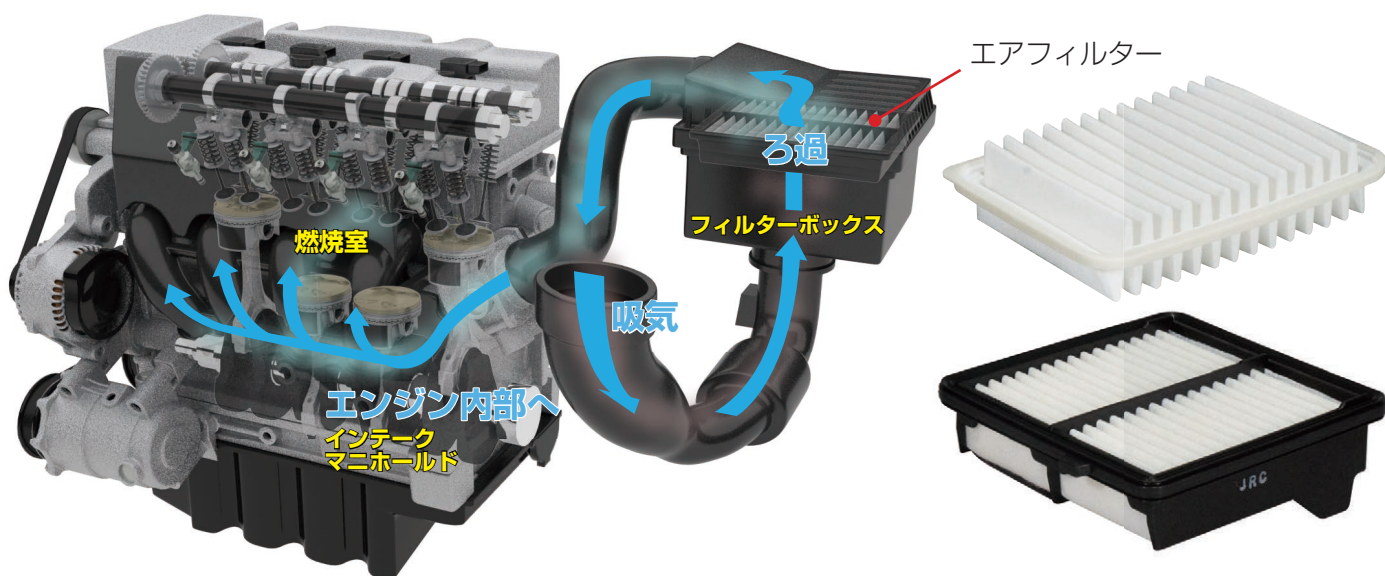
エンジン性能を最大限に

引き出すために、エアフィルターの定期的な交換を。

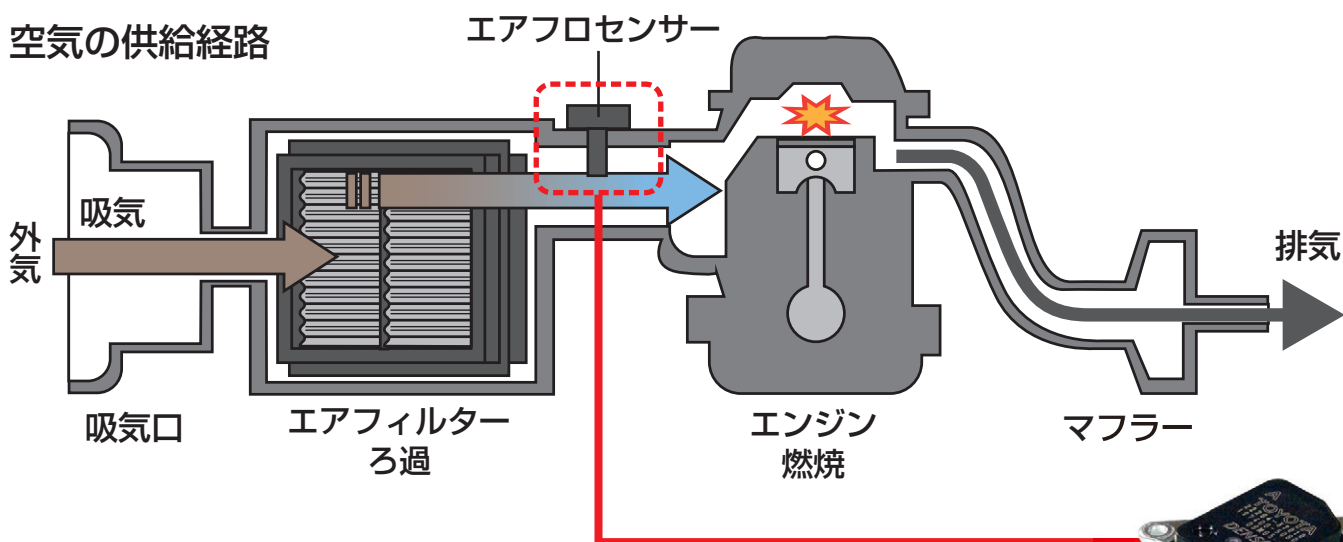


### 汚れた空気がエンジン出力を低下させる

エアフィルターはエンジンが吸入する空気の入りにくれています。空気中の「砂ぼこり」や「ちり」等の異物をカットしてエンジン内部への侵入を防ぎます。



### 空気の供給経路



### ■汚れた空気を送り込むと……

エンジンの出力アップには最適な混合気(燃料+空気)が必要です。エンジンに送り込む空気量をエアフロセンサーで計測し最適な混合気を作っています。大気中には有害なダスト(アルミナ、カーボン、砂等)が含まれており、エンジンにとっては大敵。これらをフィルターでキャッチせずそのまま送れば、エアフロセンサーやエンジンに直撃し、シリンダーやピストンリングの摩耗はもちろん、エンジンの出力低下を招きます。



エアフロセンサー

## エアフィルターの目詰まりは燃費悪化の原因

### 交換せずに使用し続けると……

エアフィルターを交換せずに使用していると目詰まりを起こし、エンジンへの空気の供給が悪くなります。こうなるとエンジンは酸欠状態になり、レスポンスも悪くなります。その結果、アクセルペダルを余計に踏み込むことで、燃費悪化の原因となります。



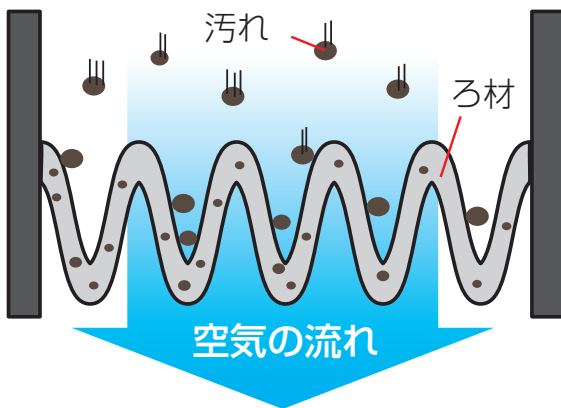
### エアフィルターは清掃不可

エアフィルターは清掃しても性能を最大限に発揮できません。必ず新品に交換しましょう。

## エアフィルターの種類

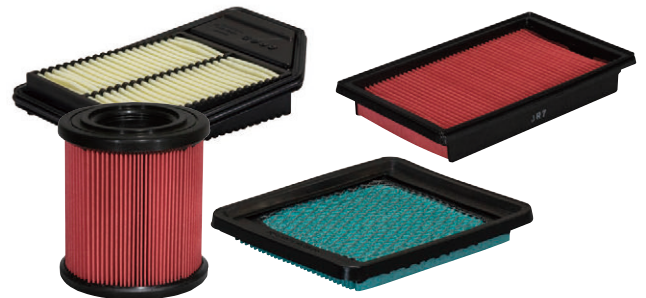
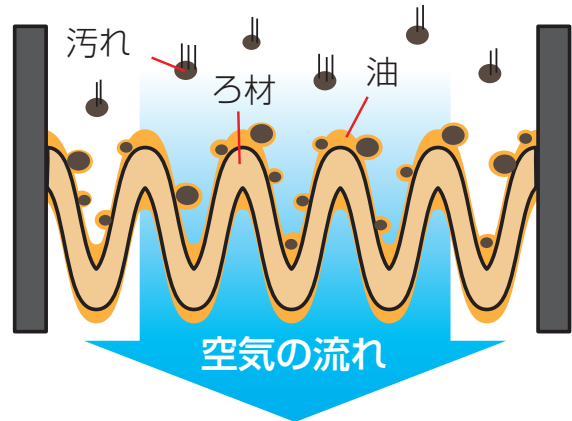
### 砂埃等のダストの吸着に適している ドライタイプ(乾式)

乾いたろ材でちりやほこりを取り除く方式をドライタイプと呼びます。表面でろ過するろ紙タイプと厚みのある繊維で立体ろ過する不織布タイプがあります。



### 油脂系カーボンの吸着に適している ビスカスタイプ(湿式)

ろ材にオイルを染み込ませてオイルがちりやほこりを吸着する方式をビスカスタイプと呼びます。(ビスカスタイプは清掃できません。)

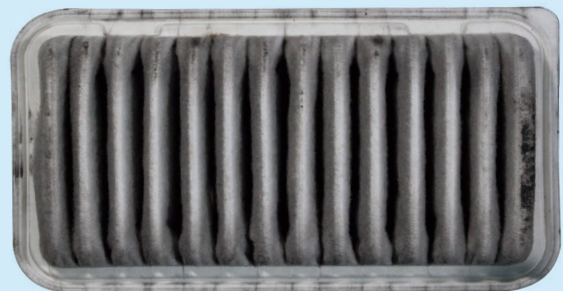


## エアフィルターの劣化

新品



走行後





# AIR FILTER

## エアフィルター

### エアフィルター取り付け上の注意

### ケースカバーの開き具合によってエアフィルターの取り付けやすさが変わります。

エアフィルターのケースの中にはカバー全体を取り外さず、カバーの片側を固定して開けるタイプがあります。このタイプは出来る限りカバーを広く開けた方がフィルターを取り付けやすくなります。



エアフィルターは滑り込ませるように取り付けます。



カバーの開きが小さい  
取り付け**難い**



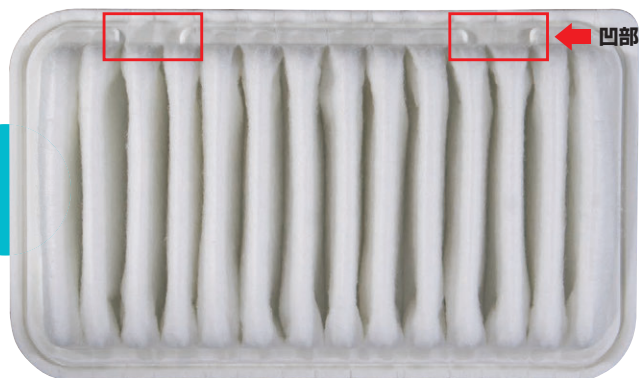
カバーの開きが大きい  
取り付け**易い**

### エアフィルターは取り付け位置が決まっています。



#### 1カ所だけRが小さい

フィルターとケースには1カ所だけRの小さい部分があるのでそこに合わせて取り付けます。



#### 下面とケースの凸凹部を合わせて取り付ける

フィルターの凹部とケースの凸部が合うように作られています。きっちり合わせて取り付けます。

